

対象企業：過去 5 年間に本学卒業生の採用実績がある企業約 520 社

調査方法：郵送にてアンケートを配布。郵送にて返送または Web にて回答の形で回収。

調査期間：平成 30 年 8 月下旬～平成 30 年 9 月末日

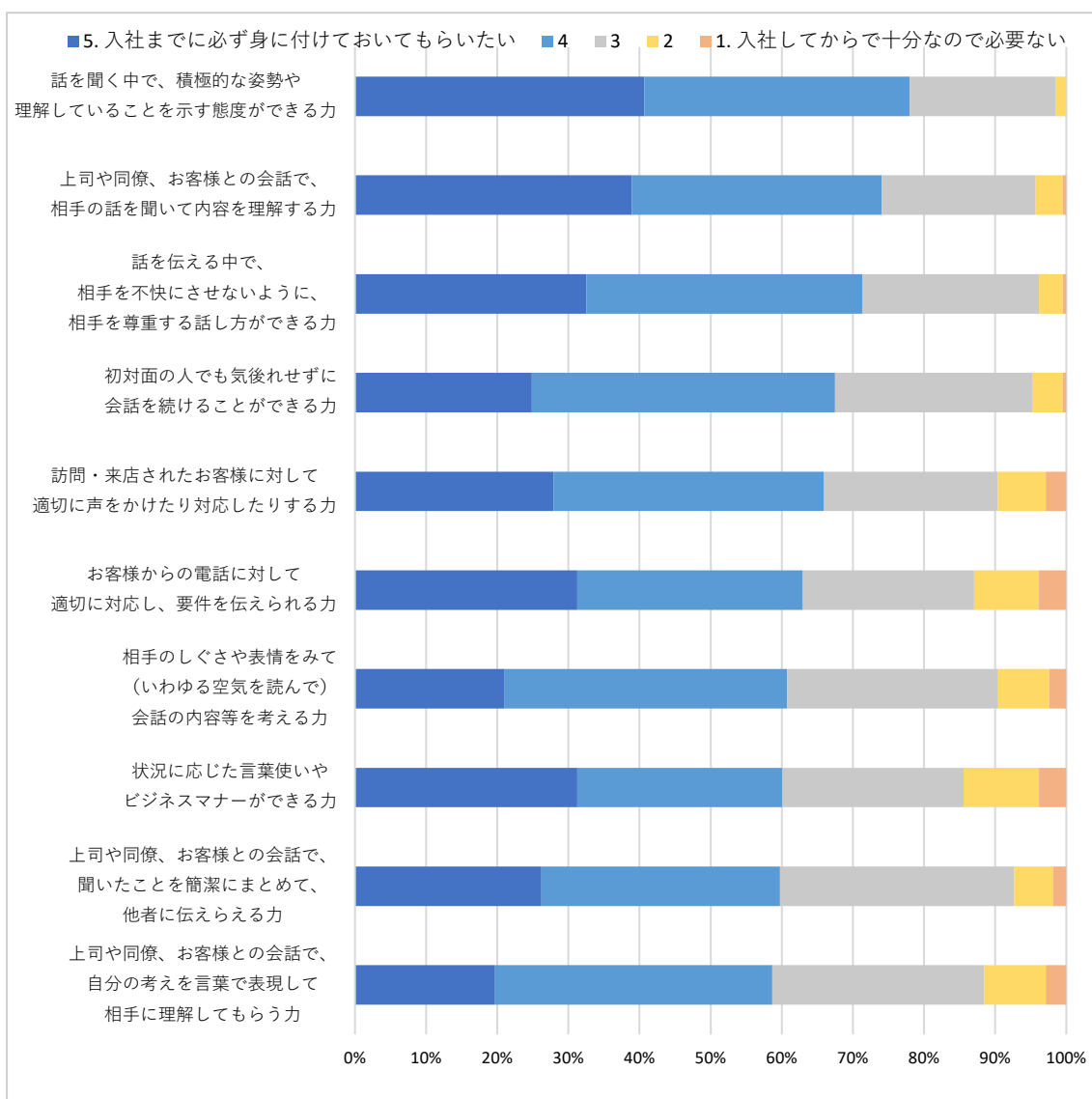
調査項目：①入社するまでに身に付けておいてもらいたいコミュニケーション能力について（20 項目を 5 段階で回答）、②社会で必要とされる能力を証明する書類について（14 項目を 5 段階で回答）、③その他

回答社数：209 社（回収率 40.2%）

調査結果

①「入社するまでに身に付けておいてもらいたいコミュニケーション能力について」

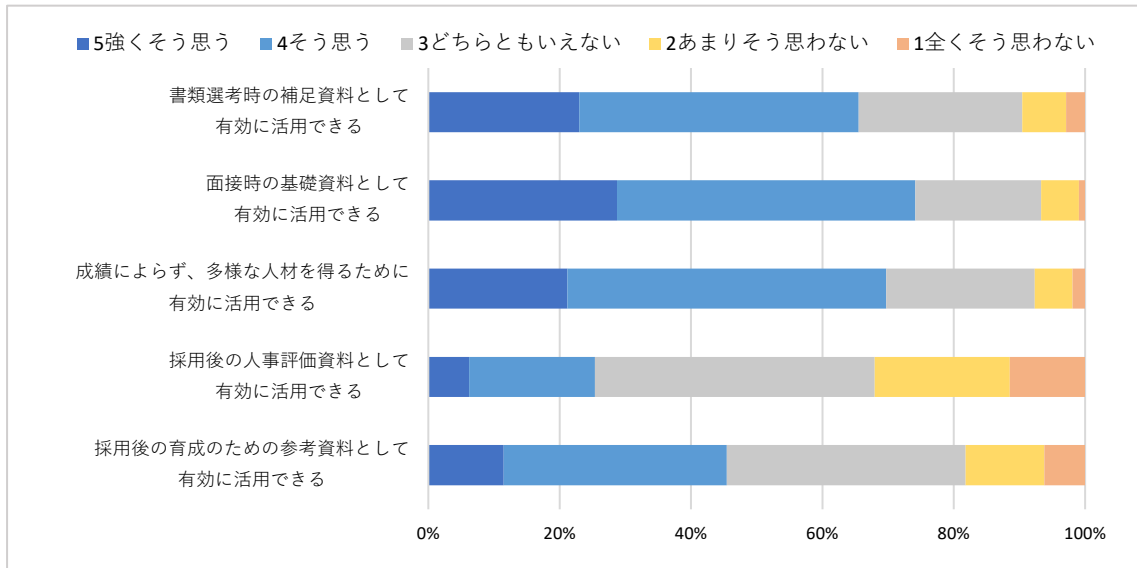
様々なコミュニケーション能力 20 項目に対して、5 段階（5.入社するまでに必ず身に付けておいてもらいたい～1.入社してからで十分なので必要ない）で回答（上位 10 項目のみ）



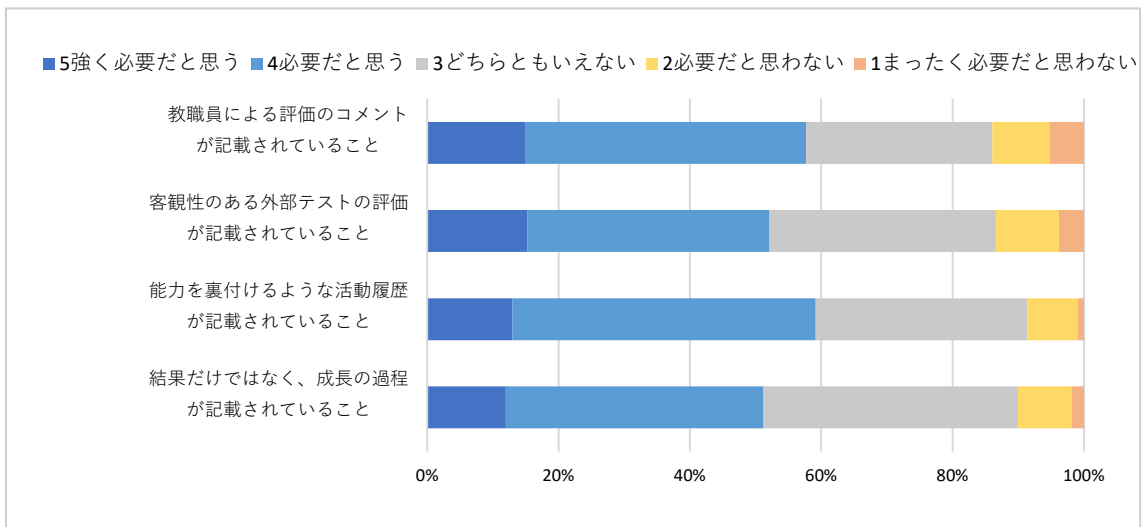
②「社会で必要とされる能力を証明する書類について」

コミュニケーション能力やチームで働く力などの社会で必要とされる能力が短期大学でどの程度付いたかを証明する書類の発行を計画していることについて。

(1) そのような能力を証明する書類は、貴社にとって有効に活用できそうか。



(2) そのような能力を証明する書類を有効に活用するためには、どのような情報が必要だと考えられるか。



分析結果

- ・ 入社までに身に付けておいてもらいたいコミュニケーション能力に関して、1位、2位の項目は70%以上の企業様が「傾聴力」（話を聞く態度や話しを理解する力）を求めているという結果である。その他、不快にしない話し方やビジネスマナー、立場の違う相手（初対面やお客様、上司等）でも1対1で話ができる力の項目が上位となっている。
- ・ また、社会で必要とされる能力を証明する書類に関しては、60%～70%の企業様が、書類選考時や面接時など、学生のことを知る初期の段階で活用できそうという結果であり、どのような情報かは問わないが、50%～60%の企業様は、能力を裏付ける何らかの客観的な証拠が必要だと考えられるという結果となった。

今後の教育活動に対する改善点について

以上の内容について、本学主催の第4回APフォーラム（2018/10/6）にて報告、学外委員からなるAP外部評価委員会(2019/2/26)および、学内教職員によるFD会議(2019/6/20)において報告・検討を実施し、以下の点を今後の改善点として取り組むことを確認した。

- ・ どのような調査においても社会人として必要な能力の上位に出てくる「コミュニケーション能力」であるが、今回の調査により、本学の卒業生に求められている「コミュニケーション能力」は「傾聴力」（聞くときの態度やわからないことを質問する力）という結論となっている。
- ・ つまり、情報を発信する手段や方法よりも、様々な立場の人々から情報を受け取る時の態度や、受け取った情報に関して適切な対応ができることが求められている。
- ・ 本学がこれまで重視して育成を行ってきたコアコンピテンスの1つにも「コミュニケーション力」が挙げられているが、より本学の卒業生が社会に求められている能力に注視して育成を考える必要があるのではないかと考えらえる。
- ・ ただし、下位の能力も多数の企業様が必要だと判断されていることから、軽視することのないようにしていく必要がある。
- ・ また、そのような能力が身に付いたことを証明する書類に関しては、書類選考や面接時には有効にご活用いただけそうだという結果を得ることができたが、信頼性を得るためには裏付ける客観的な根拠等が必要であり、その根拠をどのような形で社会に提示していくかを、さらに考えていく必要がある。